



祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

祭

ていね夏のお祭り 2008

いよいよ、夏本番！各地域では、これからさまざまな夏祭りが開催されます。今月号では、その中でも手稲の夏の風物詩として定着した、「ていね夏あかり」や、隣接する「小樽市」と「石狩市」のお祭りについても紹介します。

また、一覧表を参考に各地域のお祭りへ、一度参加してみませんか？

「ていね夏あかり」をご存じですか？

ちょうちんが夏の夜を彩る「ていね夏あかり」は、手稲区内の小学生が、地元の北海道工業大学の学生の指導でちょうちんを作り、それをてっぴく・ひろばに集めて、一斉に展示して点灯するイベントです。

このイベントは、手稲の子どもたちが自らちょうちんを作って飾り、あかりをともしることにより、参加した子どもたちに「夢と感動」を与え、地域への愛着を育む場となってほしい、という思いから始まったものです。

現在では、手稲区内全小学校と児童会館だけでなく、特別支援学校や高齢者大学など、さまざまな団体がちょうちん作りに取り組んでいます。

平成4年に450個のちょうちんから始まった「ていね夏あかり」は、平成19年には（過去最高の）8,266個を数え、あかりが会場を鮮やかに彩り、幻想的な景色を演出しました。

この「ていね夏あかり」で生まれた「ちょうちん」作りを通して祭りに参加するという取り組みは、他の市区町村の夏祭りなどにも取り入れられ広がりを見せています。



▲児童会館でのちょうちん作りの様子

ていね夏あかりは、「まちづくり功労者」として 国土交通大臣より表彰されました



「ていね夏あかり」は、大学生と地域の子ども・高齢者との異世代交流と、ものづくりの楽しさの発見、地域文化や地域への愛着の育成が評価され、さまざまな「まちづくり賞」を受賞しています。

本年は、6月25日に「まちづくり功労者」として、国土交通大臣より表彰されました。

〈過去の受賞歴〉

平成9年 「札幌市都市景観賞」 特別賞

平成19年 「北のまちづくり賞」 知事賞（最優秀賞）

ていね夏あかりは 「こども環境サミット札幌」フレンドシップパーティーに参加しました

今年洞爺湖町で開催されるサミット（先進国首脳会議）を記念して開催された、「こども環境サミット札幌」の中のイベントとして、6月27日にフレンドシップパーティーが開かれ、「ていね夏あかり」のメンバーが各国の子どもたちにちょうちん作りを指導しました。

作った「ちょうちん」にあかりをともし、子どもたちと一緒に「ていね夏あかり」のメンバーも盆踊りで、国際交流を深めました。

